

■北淡事務所・北淡センター
新築工事

契約先…常盤興業(株)
契約額…4億8,593万円

現施設は、老朽化・耐震性の問題から、隣接地に災害時の避難所対応等、公民館や事務所機能を集約した複合施設として整備します。
利用開始…平成30年10月予定

- 問 北淡事務所等利活用検討委員会の委員に契約業者が入っていたが、市民に誤解を与えないか。何か対応策があるのでは。
- 答 利活用検討委員会において、入札に関する資料は出していません。今後、市として、検討委員会等の構成は、統一したメンバー等の基準を設け、対応していきたいと考えています。



こんな契約が決まりました

■津名浄化センター
沈砂地・ポンプ棟工事
(機械・電気工事分)

契約先…(株)神鋼環境ソリューション
契約額…5億5,620万円
総工事費…11億2,000万円(設計監理費含む)

- 問 事業の必要性は理解できるが、厳しい財政状況の下、総工事費約11億円を投入し、その費用対効果と工事の必要性は。
- 答 処理水が増える中、既設ポンプでは処理能力が不足して水処理ができません。このままでは、汚水処理が追い付かず、管に停滞し、あふれるおそれがあります。

沈砂池・ポンプ棟工事				
区分	28年度	29年度	30年度	契約額
棟建設工事 (現在工事中)	←	→		4億6,742万円
機械・電気工事 (今回の契約案件)		←	→	5億5,620万円

産業厚生常任委員会

香りの公園(一宮)の設置・
管理に係る条例

現状の公園から
どう変わるのか

- 問 公園条例から分離して単独で新しく条例を作り、「香り」を中心に事業を円滑に進めたいと、市は説明するが、具体的にどう進めるのか。
- 答 平成31年に30周年を迎え、これを契機に「香り」に重点を置き、パルシェ、伊弉諾神宮、あわじ花さじき等と連携し、積極的に事業展開を考えています。アロマハーブ教室、コンサートなど、連携施設と協議を進めながら、具体的な事業展開を考えていきます。
- 問 入場者数と今後の見込みは。
- 答 平成28年度は、約2万8,400人であり、指定管理者による事業展開により、より多くの利用者の増加を目指します。

新しい条例ができます

総務文教常任委員会

佐野運動公園第1野球場ナイター
設備の設置・管理に係る条例

市民利用の特典は

- 問 市は、県の施設内にナイター設備を作るが、管理も市と県で別にするのか。
- 答 一体的施設なので、県と同じ指定管理者が管理します。指定管理者の募集は、県がグラウンド等と一括して行い、市は県に指定管理料の一部を支払います。
- 問 高校生までの利用料金減免があるが、定住促進にもつながるように、大学生などにも対象を増やせなかったのか。
- 答 市内の大学生の多くは社会人クラブに属していますので、減免対象とはしていません。少しでも利用につながればと、高校生を対象に拡大しました。

審査のポイント

より暮らしやすさを目指して

	歳入歳出への今回追加額	補正後の総額
一般会計	4億2,939万円	308億6,514万円
特別会計	2億 422万円	176億5,958万円

主な補正予算の用途

学習小学校スクールバス乗り場整備

内容 平成30年度から釜口地区が学習校区となるための整備費用
2,500万円

上水道の高料金対策補助

内容 自然条件等により割高となる建設費の影響を受けて高くなる水道料金への対策費用
1,027万円

コンビニ交付システム本籍地サービス構築

内容 住所地と本籍地が異なる方への住民票などコンビニ交付を可能にします
332万円

江井分団消防器具庫整備

内容 老朽化と山腹崩壊箇所にある今の消防器具庫を被害想定外へ移設するための用地購入費
283万円

その他補正予算の質疑ポイント

債務負担行為で予算を確保するが、今後の事業展開や計画はいかに

※債務負担行為って?…現年の歳出予算金額や継続費または繰越明許費を除き、今後複数年というように、将来にわたる債務(支出)を負担することを確定させる手続です。

南部生活観光バス路線運行事業

- 問 1億6,300万円の予算計上があるが、平成29年度から平成36年度までの期間、何を行うことによる計上なのか。
- 答 平成31年10月から市コミバスの南進事業をスタートできるように計画を進めています。今年度分は準備経費として300万円、平成31年からの事業費(3,200万円/年)を確定させた上で、事業者から提案型の応募をし、計画実施に向け進めていきます。バスの購入は、別途予算化の必要があります。

LED照明導入事業

- 問 平成40年度までに合計1億3,000万円を支払うことになるが、その内容は。
- 答 平成29年度は、市所有のLED化の街灯、防犯灯の台数、それ以外の全数等の調査をしています。平成30年度からリース事業者と契約し、蛍光灯照明をLED照明に取り換える工事に入ります。補助金の関係で、それまでに事業者を選定・決定する必要があります。平成29年度中に事業者の選定作業に入るため、今回予算計上を行います。
総工事費のうち、取り付け工事費の約半は補助金が入り、残り分を市がリース業者に支払います。LED化で省エネ、電気料金の削減になり、平成40年以降は市所有の防犯灯となります。

